

交換留学生の授業と履修について

【授業について】

交換留学生対象の日本語特別クラスでは、文法・読解・作文・会話・文化事情を学びます。来日後にプレースメントテストと面接を実施し日本語能力を調べ、集中日本語クラスレベル1～3、学部授業レベルの4つのレベルに分けます。

集中日本語クラスは、レベル1（初級）・レベル2（中級）・レベル3（上級）に分かれ、それぞれレベルごとに「集中日本語基礎演習」の授業を1週間に8コマ受講します。

学部の授業に十分ついていける日本語力がある学部授業レベルと判断された場合は、日本語特別クラスだけではなく学部の授業も履修することができます。どのような授業が履修できるかは、大東文化大学ホームページシラバスにて確認することができます。

(Web シラバス) <http://www.daito.ac.jp/campuslife/syllabus/index.html>

【日本語特別クラスの授業】

日本語特別クラスには、交換留学生対象の「言語コース（集中基礎コース）」と、学部授業レベルの「内容コース」「言語コース（発展コース）」があります。

■言語コース（集中基礎コース） *A=前期 B=後期

- ・集中日本語基礎演習 1A1～1A8 / 1B1～1B8（レベル1） (単位) : 1 *合計 8 単位
- ・集中日本語基礎演習 2A1～2A8 / 2B1～2B8（レベル2） (単位) : 1 *合計 8 単位
- ・集中日本語基礎演習 3A1～3A8 / 3B1～3B8（レベル3） (単位) : 1 *合計 8 単位

■内容コース

- ・日本の政治・経済・社会 A / B (単位) : 2
- ・日本の文化・芸術 A / B (単位) : 2
- ・日本の歴史 A / B (単位) : 2
- ・現代日本の諸相 A / B (単位) : 2

■言語コース（発展コース）

- ・理解とコミュニケーション A / B (単位) : 1
- ・日本語文章表現 A / B (単位) : 1
- ・資料・文献読解 A / B (単位) : 1

【履修について】

交換留学生はプレイスメントテスト後に、各自の時間割表を作成します。履修のスケジュールは、「来日後の予定」を参考にしてください。なお、提出期限を過ぎてからの履修の変更、取消はできませんので、よく相談をして提出をするようにしてください。

*書道学科所属、大学院生の学生は指導教員と相談して履修をしてください。

【留学報告会】

交換留学プログラムを修了した交換留学生には、帰国の前（7月、12月）に大東文化大学で学んだことや日本において体験したことを一人ひとり、日本語でスピーチをしていただきます。報告会には、先生方や日本人学生も出席しますので、これまでの留学の成果を披露する良い機会になると思います。